

南押切小学校と栄生小学校の統合(案)について

南押切小学校と栄生小学校は現在小規模校となっています。教育委員会では、子どもたちにとってより充実した教育環境となるよう、南押切小学校と栄生小学校の2校を新しい学校として1つにし、望ましい学校規模及び教育環境を確保することを検討しています。

なお、この資料は現段階の案であり、現時点で決定しているものではありません。

1 学校規模の考え方

01 「小規模校」ってどのような学校なの？

	11 12 24 25 30 31(学級数)											
小学校	小規模						望ましい規模			大規模		過大規模
中学校	小規模		望ましい規模							大規模		過大規模
	5	6	8	9	18	19	24	25	30	31(学級数)		

名古屋市では、小学校ではクラス替えのできない学年が生じる11学級以下、中学校では5学級以下の学校を「小規模校」と考えています。

02 小規模校のよいところ・困ることは？

小規模校の「よいところ」は？

一人一人の活躍の
場が多い
みんなが主役

職員の目がよく届く
アットホームな雰囲気

盛んな異学年交流
縦割り活動が盛ん

学級数が
少ないので施設を
ゆったり使える

小規模校の「困ること」は？

行事がさびしく、
教育効果が下がる

多くの人に出会い、
様々な考えに出会え
る機会が少ない

クラス替えができない
と人間関係でトラブル
があった場合に、
嫌な気持ちを抱いたま
ま、我慢させてしまう

ずっと同じ顔ぶれ
だと、新しい気持ち
で頑張ろうという
思いや、切磋琢磨
する気持ちになり
づらい

男女比のかたよりが
生じやすい

集団学習、
グループ活動などに
制約が出る

【お問い合わせ先】

名古屋市教育委員会事務局総務部教育環境整備課

電話：052-972-3282

E-MAIL：a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

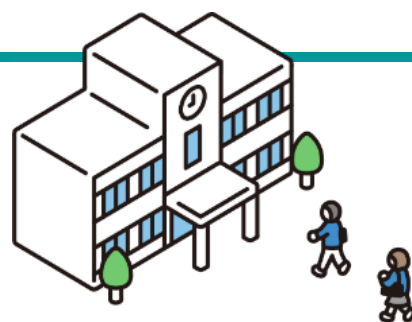
※統合に関する情報：[ナゴヤ子どもいきいき学校づくり](#)で検索、
又は右記の2次元コードからご覧ください。



2 統合の方向性

01 どのような案を検討しているの？

- 南押切小学校と栄生小学校は現在小規模校であるため、南押切小学校と栄生小学校を統合し、新しい小学校をつくることを検討しています。
新しい学校の場所は現在の栄生小学校の場所を考えています。



■なぜ栄生小学校の場所にするの？

新しい学校の通学区域は、現在の南押切小学校と栄生小学校の通学区域を合わせたものとなります。

新しい学校の通学区域を想定した場合に、比較的中央に位置していること、また、敷地面積が栄生小学校の方が大きいいため、より適切な場所と考えています。

【敷地面積】 栄生小学校:9,855㎡、南押切小学校:8,000㎡

02 新しい学校になったら、どこに通学することになるの？

- 統合を機に新しい校舎を整備することを検討しています。
- 新しい校舎を工事する間は、安全な学校生活の確保のため、いったん南押切小学校の場所で学校を運営することを検討しています。3年程度かけて、栄生小学校の場所に新しい校舎を整備し、完成後に新校舎(栄生小学校の場所)に通うことを想定しています。
(具体的な見通しは、「3 今後のスケジュール(想定)」をご参照ください。)
- 名古屋市では、小中学校の通学は徒歩を基本とし、距離は小学校は2km、中学校は3kmを目安とします。南押切小、栄生小の通学区域のうち栄生小学校までの距離が最も遠い地域でも、市の目安の通学距離である2km以内となります。
(次のページの地図をご参照ください。)

03 通学路の安全は大丈夫なの？

- 統合の決定後、新しい学校の開校に向けて、安全点検や地域・交通状況などの特性を踏まえて新しい通学路を設定するとともに、必要な安全対策について関係行政機関と連携を図り、通学の安全確保に取り組みます。

(これまでの取組みの例)

歩行者用信号機の時間調整、ガードパイプなどの安全施設設置、
注意標識設置、交通指導員配置、通学練習会実施など

04 南押切小学校の跡地はどうなるの？

○避難所機能と地域の活動の場に配慮しながら、地域の要望も踏まえて検討します。
教育委員会だけでなく市の他部局も一緒に、どのような活用ができるかを検討していきます。
過去の跡地活用では、私立学校や区役所、シェアオフィスなどの例があります。

05 学区の地域の活動はどうなるの？

○小学校が1つになっても、2つの学区のまま地域の活動を継続できます。

通学区域・通学距離



※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育委員会事務局教育環境整備課が加工して作成したものです。



06 新しい学校は、どんな校舎になるの？

新しい学びに対応する充実した教育環境や防災機能を兼ね備えた新しい校舎を整備する予定です。

【参 考】 新しい学校の校舎のイメージ ※西区なごや小学校

下の写真は西区のなごや小学校です。なごや小学校は平成27年に幅下小学校・那古野小学校・江西小学校の3校が統合し、開校しました。



【可変性のある教室】



【居心地の良いゆったりとした図書室】

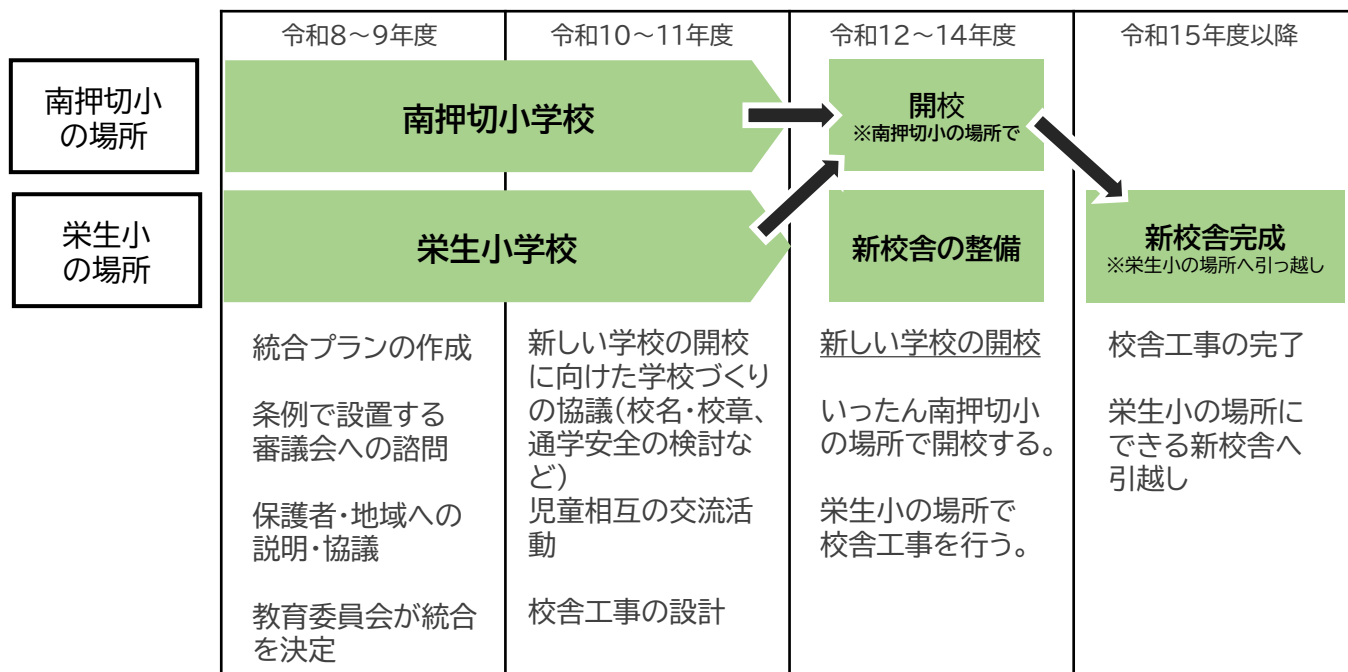


【木のぬくもりが感じられる内装】 【明るいトイレ バリアフリートイレも併設】 【エレベーター】

区 分	内 容(案)
教育環境の整備	○授業に合わせて柔軟に学習形態を変更できるワークスペースを各普通教室に隣接して配置 ○居心地が良く、調べ学習、自主・自発的な学習を手助けする学校図書館を整備 ○床や壁面に木材を使用した温かみのある空間づくり
人にやさしい施設	○エレベーターを設置 ○各階にバリアフリートイレを設置 ○段差の解消、手すり、スロープ、視覚障害者誘導ブロックを設置 ○教室や体育館への空調設置
環境への配慮	○壁や屋根の断熱材、複層ガラスによる断熱化 ○照明をLED化 ○雨水をトイレの洗浄水に利用
防災機能の向上	○2階建ての体育館、今の約1.5倍の体育室 ○防災倉庫・避難所運営時の事務室となる避難者支援室の整備

3 今後のスケジュール(想定)

これまでの先行事例を踏まえ、最短で進んだ場合を想定したスケジュールです。



※ 下記は、最短で進んだ場合の、現在の年齢・学年と統合スケジュール(想定)の対照表です。

令和8年度時点 年齢/学年	学年	通学先	令和8年度時点 年齢/学年	学年	通学先
0歳児 (R8.4.2生～)	1～6年生	統合校新校舎(栄生小の場所)	4～5歳児 (R3.4.2～R4.4.1生)	1～2年生	お住いの学区にある学校
0～1歳児 (R7.4.2～R8.4.1生)	1年生	統合校(南押切小の場所)		3～5年生	統合校(南押切小の場所)
	2～6年生	統合校新校舎(栄生小の場所)		6年生	統合校新校舎(栄生小の場所)
1～2歳児 (R6.4.2～R7.4.1生)	1～2年生	統合校(南押切小の場所)	5～6歳児 (R2.4.2～R3.4.1生)	1～3年生	お住いの学区にある学校
	3～6年生	統合校新校舎(栄生小の場所)		4～6年生	統合校(南押切小の場所)
2～3歳児 (R5.4.2～R6.4.1生)	1～3年生	統合校(南押切小の場所)	1年生 (H31.4.2～R2.4.1生)	1～4年生	お住いの学区にある学校
	4～6年生	統合校新校舎(栄生小の場所)		5～6年生	統合校(南押切小の場所)
3～4歳児 (R4.4.2～R5.4.1生)	1年生	お住いの学区にある学校	2年生 (H30.4.2～H31.4.1生)	2～5年生	お住いの学区にある学校
	2～4年生	統合校(南押切小の場所)		6年生	統合校(南押切小の場所)
	5～6年生	統合校新校舎(栄生小の場所)	3～6年生 (H26.4.2～H30.4.1生)	3～6年生	お住いの学区にある学校

参考 学級数及び児童数の見込み

1 南押切小学校の現状等

(1)学級数・児童数・学区内の未就学児数(令和8年度)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	7学級
10人	16人	12人	13人	11人	17人	1人	80人

※特支:特別支援学級

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
14人	20人	15人	12人	17人	12人	90人

(2)学級数及び児童数の見込み

令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級
79人	74人	80人	79人	82人	87人	95人

※特別支援学級の人数・学級数は含みません。

2 栄生小学校の現状等

(1)学級数・児童数・学区内の未就学児数(令和8年度)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
2学級	1学級	2学級	1学級	2学級	2学級	2学級	12学級
54人	33人	40人	33人	38人	39人	7人	244人

※特支:特別支援学級

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
53人	55人	66人	67人	57人	46人	344人

(2)学級数及び児童数の見込み

令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
10学級	10学級	10学級	12学級	13学級	13学級	12学級
237人	240人	254人	281人	303人	318人	319人

※特別支援学級の人数・学級数は含みません。

3 統合校の規模

統合を想定した場合の学級数及び児童数の見込み

令和12年	令和13年	令和14年
14学級	15学級	16学級
385人	405人	414人

※特別支援学級の人数・学級数は含みません。